

三菱ケミカルホールディングス(MCHC) 事業再編・統合・公開買付説明会 ーネットカンファレンスー

2007年2月8日(木)

株式会社三菱ケミカルホールディングス
取締役常務執行役員 佐藤 隆一

公開買付(TOB)の概要

MCHCグループの機能材料分野を担う統合新社設立に向けた第1段階として、三菱樹脂の完全子会社化を目的として公開買付を実施する

- 買付予定株数 現保有113,299千株(52.6%)を除く
全株式101,769千株(47.4%)を対象
- 買付価格 410円／株
- 買付期間 2007年2月9日～3月12日
- 買付人 三菱化学株式会社

統合新社

三菱樹脂

三菱化学ポリエステルフィルム

三菱化学産資

三菱化学MKV

三菱化学 機能材料事業

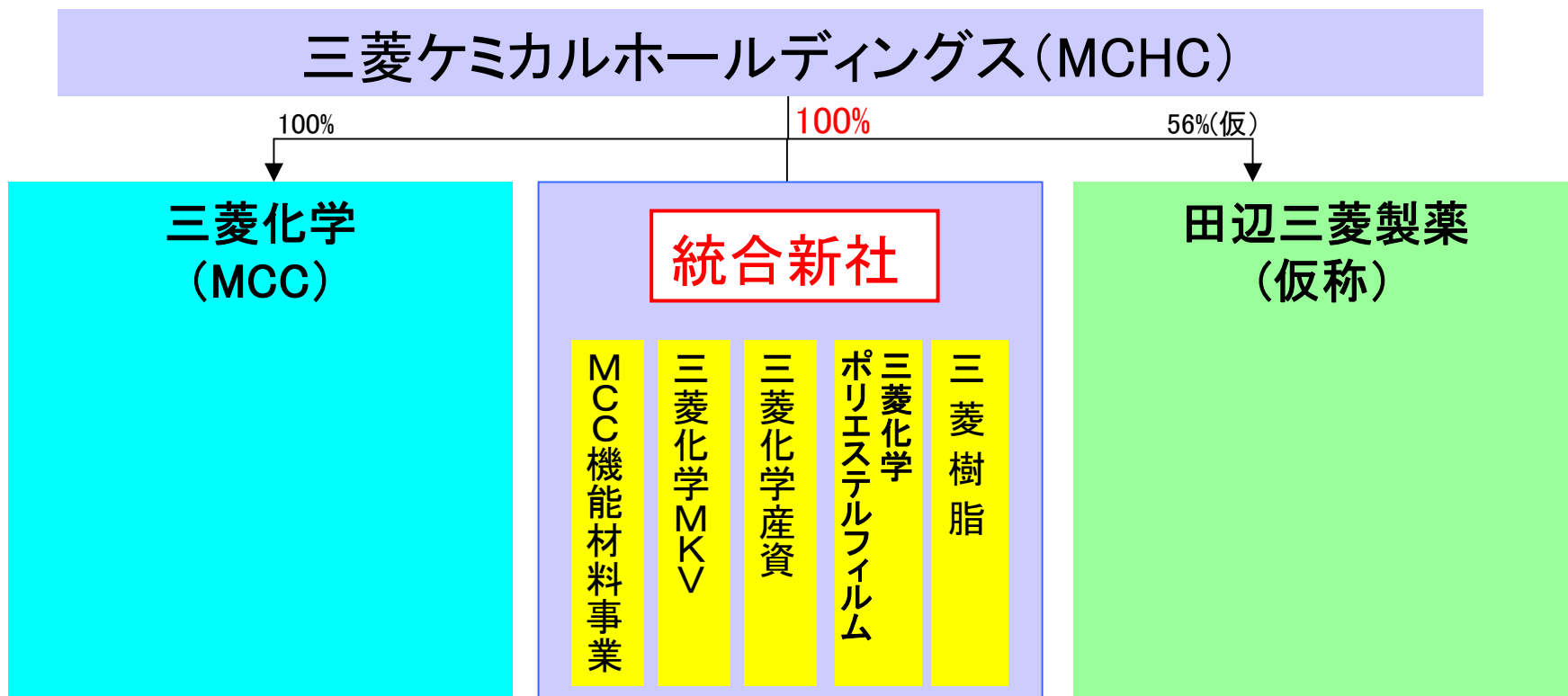
お客様のニーズによりスピーディーかつ的確にお応え出来る企業を目指す

統合
新社

これまで以上に幅広い分野でお客様の良きパートナーの役割を担える企業を目指す

上記4社以外の機能材料本部所管グループ会社株式は、統合新社が保有する方向で、今後検討を行う

MCHCグループ(2008年4月予定)



- * 三菱樹脂グループ: MPI
 - * 三菱化学ポリエステルフィルムグループ: MPF
 - * 三菱化学産資グループ: MKS
 - * 三菱化学MKVグループ: MKV
- を以下各社の略号として使用します。

機能材料 統合新社の概要

- 売上高* : 3,880億円
- 従業員数 : 約 6,800名
- 社名(予定) : 三菱樹脂株式会社
- 設立年月日(予定) : 2008年4月1日

* 三菱ケミカルホールディングス2007年3月期連結業績予想のうち、機能商品セグメント機能材料の売上高予想値です。従って、統合新社設立時の数値を表したものではありません。

統合新社設立までの予定

- 2007年 9月下旬 MCCが保有する三菱樹脂全株式を
MCHCへ移管する
- 2007年10月1日 TOBにて全株式を取得出来なかった
場合、三菱樹脂とMCHCとの間で
株式交換を実施する
→ 三菱樹脂は完全子会社となる
- 2008年4月1日を目処として、MCCが行っている
機能材料分野の事業を含めて、機能材料事業子会社
4社を統合し、MCHCグループの機能材料分野を担う
統合新社として再編・統合する予定

革進-Phase2計画の基本方針

1. 成長戦略の遂行

ー成長対象事業の選別と重点的な資源投入

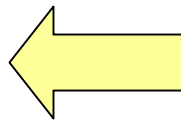
ー新商品化、新プロセス化、新ビジネスモデル化の推進

2. 経営基盤の強化

3. グループ総合力の強化

ーグループ経営の深化

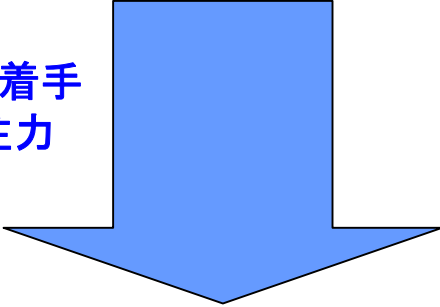
ーグループ横断的な取組み



グループワイドでの事業戦略・展開の強化
◆グループ会社資本政策の検討
◆セグメントの括りの見直し

グループ経営の課題

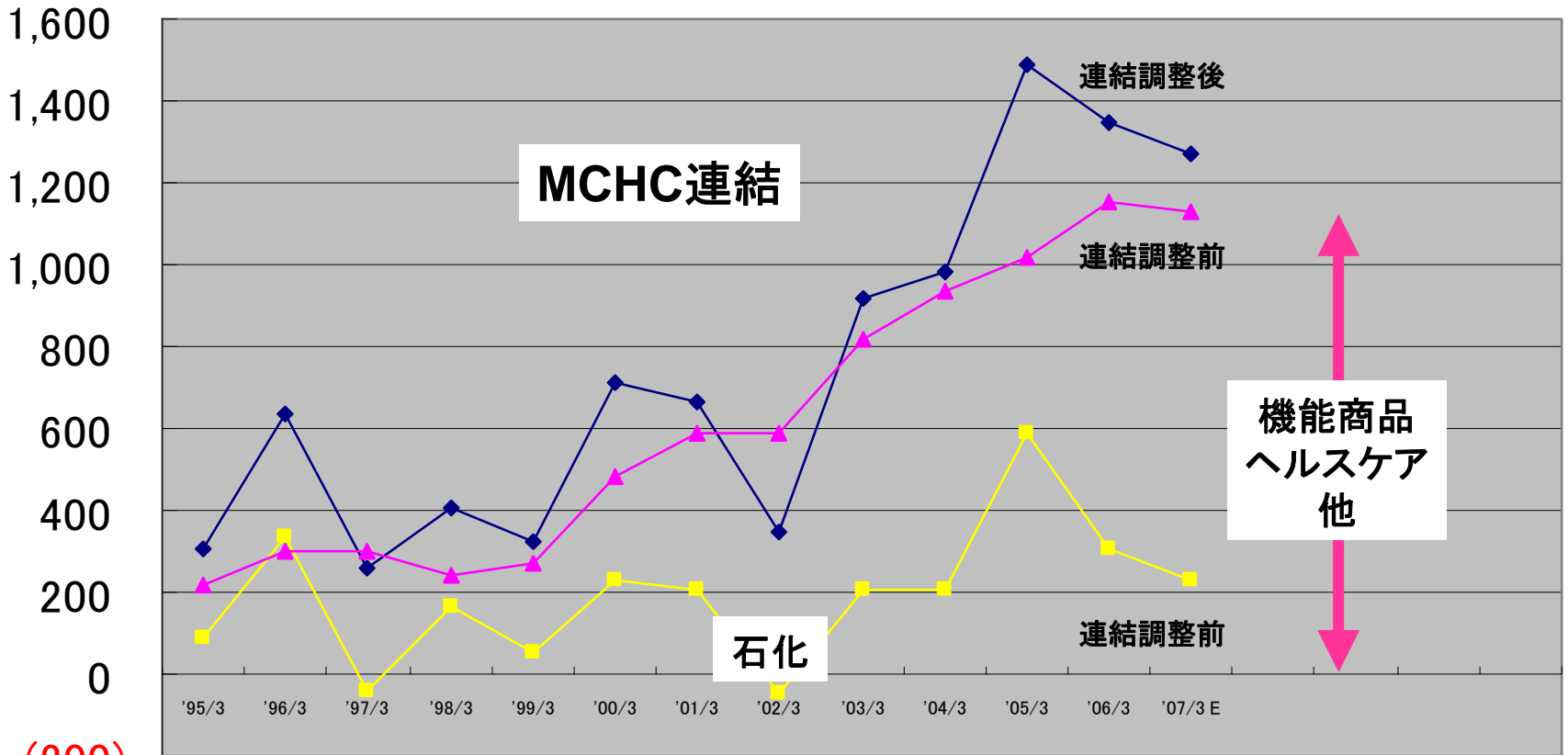
- 石化等市況商品の業績変動の谷をいかに埋めるか
- 事業成長の種をいかに継続的に生み出すか

- 市況商品の安定性を増す施策に着手
 - 機能商品・ヘルスケアの充実に注力
- 

- 機能商品、ヘルスケアが石化の業績変動を底支えできる力がついてきた
- しかし、まだ更なる強化や市況商品の構造改革等の努力は必要

機能商品・ヘルスケアの利益寄与

営業利益(億円)

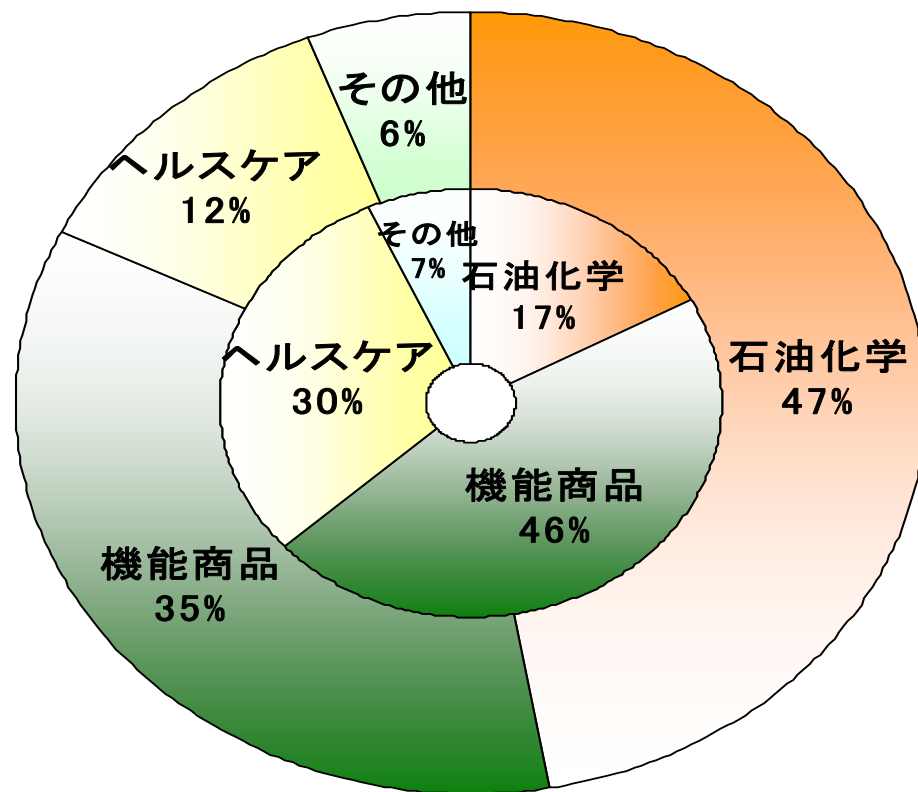


(200)



売上高・営業利益の構成

機能商品・ヘルスケアが収益を牽引



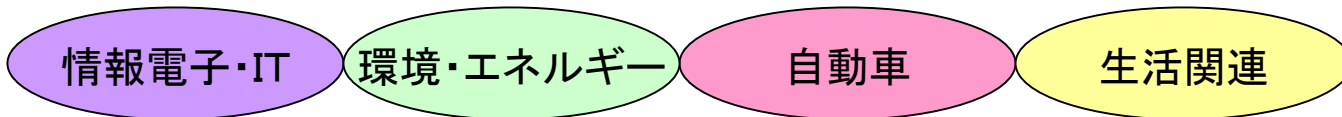
2007年3月期予想

外円：売上高 2兆6,000億円

内円：営業利益 1,270億円

＜営業利益＞
機能商品のうち
約半分が
機能材料分野

機能材料分野の事業(現状:4社)



技術プラットフォーム

- 高分子加工
- 材料設計
- 生産プロセス設計
- 評価・分析
- 光学機能設計
- 表面機能化
- 複合材設計
- 環境適合化
- 金型設計
- ・・・etc.

| 三菱樹脂 | 三菱化学ポリエステルフィルム | 三菱化学産資 | 三菱化学MKV |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------|----------------------------------|
| 金属樹脂複合材 難燃性フィルム 各種成形品 | 生分解性フィルム 冷却塔・水槽 各種パイプ | CFアーム CFロール | 深絞包装用フィルム 金属樹脂複合板 エクステリア商品 |
| 各種ポリエステル フィルム | 各種ポリエステル フィルム | 盛土補強材 床暖房部材 | アルミナ繊維 炭素複合材 |
| 各種フィルム | 農業用資材 | 塗装代替 フィルム | 各種シート 各種フィルム |

統合の意義

1. 機能材料分野のお客様のニーズは
多様化・高度化・複合化している
2. 競争環境は今後更に激化していく
と予想

お客様のニーズに、よりの確かつタイムリーにお応えする
ために、事業展開力・課題解決力を一層強化する

統合新社設立

機能材料分野の事業(統合新社)

技術プラットフォーム

高分子加工
材料設計
生産プロセス設計
評価・分析
光学機能設計
表面機能化
複合材設計
環境適合化
金型設計
・・・etc.

情報電子・IT

金属樹脂複合材
難燃性フィルム
各種成形品

各種ポリエステル
フィルム

CFアーム
CFロール

各種フィルム

環境・エネルギー

生分解性フィルム
冷却塔・水槽
各種パイプ

盛土補強材
床暖房部材

農業用資材

自動車

アルミナ繊維
炭素複合材

塗装代替
フィルム

生活関連

深絞包装用フィルム
金属樹脂複合板
エクステリア商品

各種ポリエステル
フィルム

金属樹脂複合材
コンテナバッグ

各種シート
各種フィルム

事業展開力・課題解決力の強化

幅広い産業界のお客様の課題にお応え出来る企業を目指す

統合
新
社

金属樹脂複合材

高機能フィルム

高度成形品

アルミナ繊維
炭素繊維

加工組立品

商
品
化

情報電子
IT

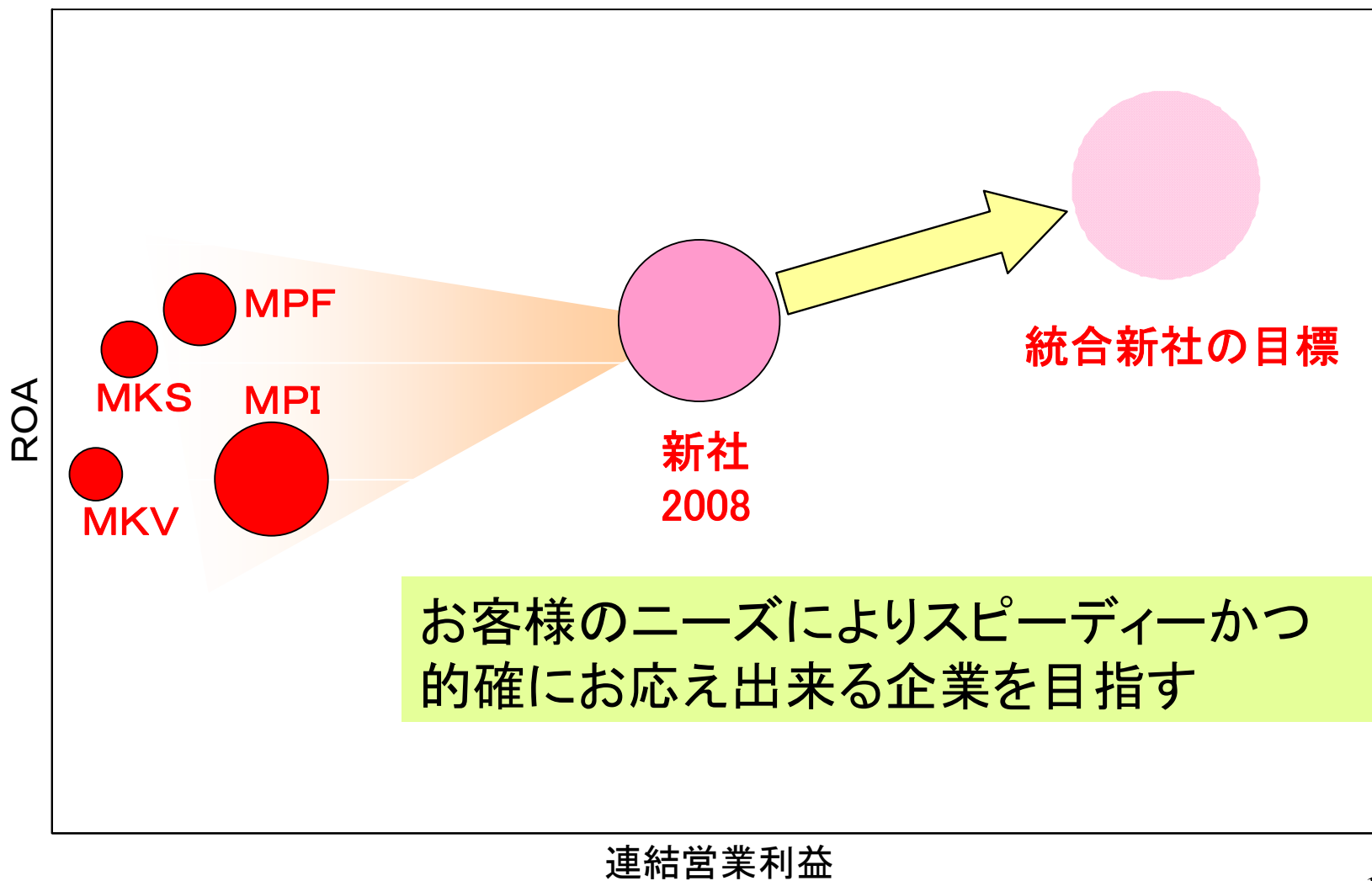
環境・エネルギー

自動車

生活関連

開発力・提案力・事業ノウハウ
高度生産技術・材料設計技術
グローバル展開力等の充実強化

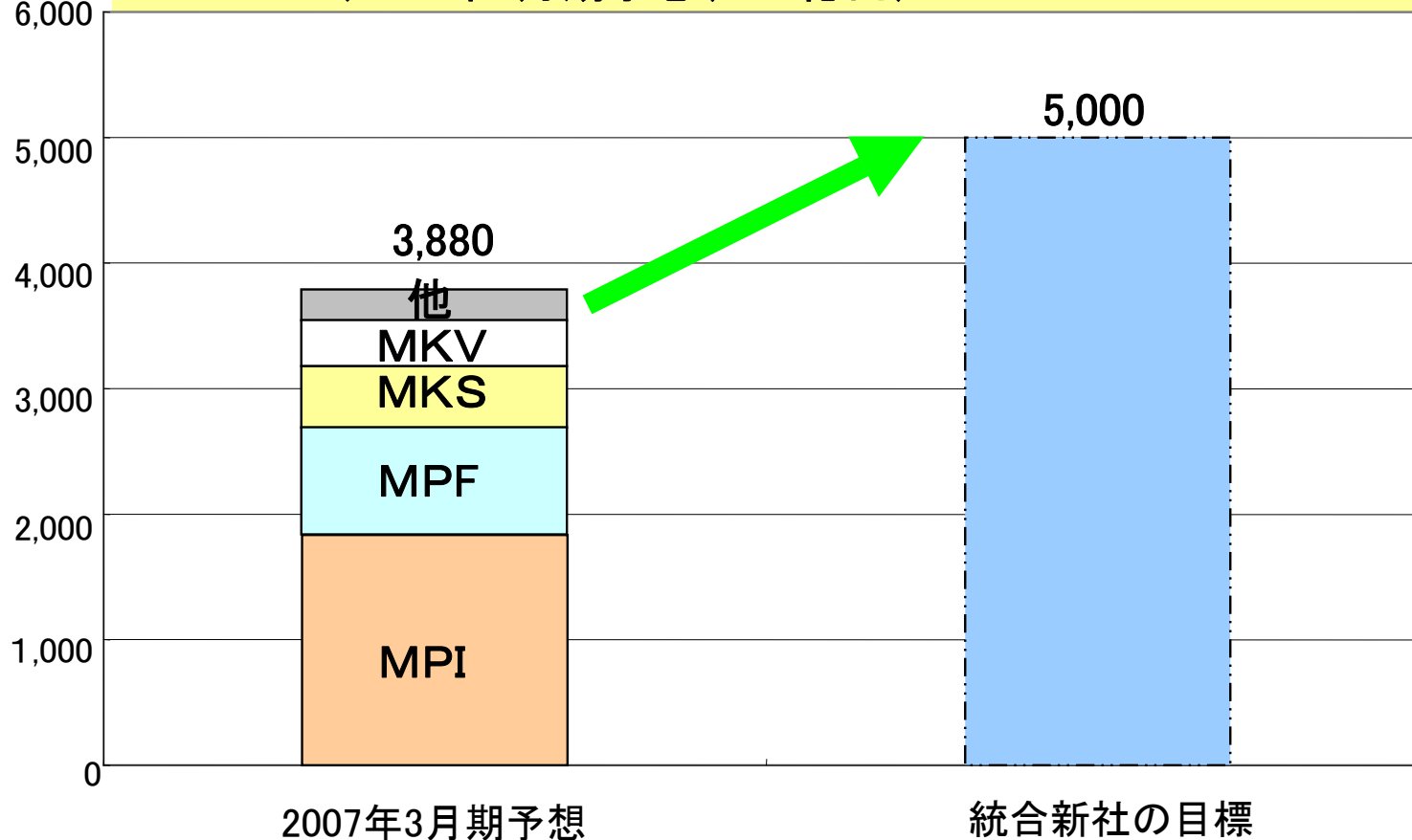
統合新社の成長性と収益性－1



統合新社の成長性と収益性－2

- シナジー効果を生かし売上規模5,000億円へ
- 営業利益は、500億円以上を目指す。
(2007年3月期予想、260億円)

連結売上高
億円



本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、上記業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは石化製品、炭素・無機製品、情報電子関連製品、医薬品、樹脂加工品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

参考資料

各社の概要

| 社名 | 三菱樹脂株式会社 | 三菱化学ポリエステルフィルム株式会社 | 三菱化学産資株式会社 | 三菱化学エムケーブイ株式会社 |
|-----------|-----------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 設立年月日 | 昭和18年1月15日 | 昭和50年5月8日 | 昭和51年9月21日 | 昭和58年9月22日 |
| 本店所在地 | 東京都千代田区丸の内 | 東京都港区芝 | 東京都千代田区丸の内 | 東京都港区芝 |
| 代表者(社長) | かんお あきら 神尾 章 | やの あきかず 矢野 彰 毎 | せがわ まさみ 瀬川 正身 | こんどう かずとし 近藤 和利 |
| 連結従業員数(*) | 約3,600名 | 約1,800名 | 約700名 | 約400名 |
| 連結売上高(*) | 約1,900億円 | 約900億円 | 約500億円 | 約400億円 |

(*)上記、連結従業員数、連結売上高は、2007年3月期業績予想の各社連結概算値です。